

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

レボドパ/カルビドパ配合経腸用液療法における PEG-J 関連合併症とチューブ交換時期についての検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院光学医療診療部

【研究責任者】 池田宜央（光学医療診療部 准教授）

【研究代表者】 山下 兼史（福岡大学医学部外科学講座 消化器外科 助教）

### 【研究の目的】

過去に受診されたパーキンソン病でレボドパ/カルビドパ配合経腸用液療法を受けられた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や偶発症について評価する研究を行うことといたしました。この研究はパーキンソン病に対するレボドパ/カルビドパ配合経腸用液療法の有用性の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん）2016年9月から2018年12月までに愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうちパーキンソン病でレボドパ/カルビドパ配合経腸用液療法を開始された患者さん

（利用するカルテ情報）年齢・性別・身長・体重・病悩期間、NJチューブ/PEG-Jチューブ留置方法、PEG造設方法、NJチューブ/PEG-Jチューブ留置位置、手術成功率・手技時間、術後PEG-Jチューブ留置位置確認の有無と時期、術後抜糸時期・術後在院日数・術後follow up期間・チューブ交換時期、チューブ交換理由とデバイス関連合併症の頻度・発生時期、合併症に対する処置

**【共同研究について】**

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの情報は、匿名化されて電子媒体で福岡大学に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院 光学医療診療部 池田宜央

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院光学医療診療部 池田宜央

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5596 (対応可能時間 平日 9:00~17:00、土日曜・祝日は除く)